



老奶奶

NPO 法人埼玉県キャンプ協会 〒336-0974 埼玉県さいたま市緑区大崎 3551 浦和大学 中島研究室
<http://saitama-camping.jp/> E-mail saitama@camping.or.jp TEL080-9821-6844 (事務局専用)

きぬた 160 号

(1 ページ)

- OPINION
「尾瀬と私」
 - INFORMATION

INT. 51

- イベントレポート
雪のキャンプ
 - イベントインフォメーション
キャンプインストラクター

● 今日の言語問題



INFORMATION

2025年度定期社員総会

NPO 法人埼玉県キャンプ協会では、2025 年度定期社員総会を次のように開催します。NPO 正社員の皆様には、ご出席いただけますようお願いいたします。

時間・場所など詳細が決まり次第、ご連絡いたします。

期日 2025年5月25日(日)

会員の投稿を募集します

OPINION/Come on SCAJ!／ Camp 情報

- キャンプ体験の感想
 - 楽しい活動の写真
 - 快適キャンプ場や便利グッズの情報等

お寄せいただいた投稿は、「きぬた」や「ホームページ」で紹介します。あなたの体験や情報が、きっと他の会員の役に立ちます。投稿が掲載された方には、もれなく素敵なプレゼントを贈呈。ただし、公序良俗に反するものは、不採用とさせていただきます。



左の QR コードから
投稿してください。
投稿先
saitama@camping.or.jp

会員から届いたキャンプの話題や体験談、ご意見などを紹介します。

尾瀬と私

♪ 夏がくれば 思い出す はるかな尾瀬 遠い空 ♪
いつかは『夏の思い出』の歌詞に出てくる尾瀬の水芭蕉を見てみたい…
と思っていましたが、なかなか行く機会に恵まれませんでした。

ところが、数年前に春雪の武尊山で、尾瀬の自然体験活動に関わっているYさんに出会いました。あっという間に意気投合し、1ヶ月後のGWに初めて尾瀬に足を踏み入れました。まだ尾瀬は冬景色。至仏山に登って大自然を味わい、尾瀬をたっぷり楽しみましたが、水芭蕉には早すぎました。

尾瀬と言えば水芭蕉です。どうしても水芭蕉をみたくなり、1ヶ月後の5月末に再度尾瀬を訪れました。いたるところに水芭蕉が咲いていて、歌の世界を満喫しました。足を延ばして三条の滝にも行きました。この時期は雪解け水が多く、轟音とともに流れ落ちる滝はとても迫力がありました。三条の滝は今まで見てきた中で一番素敵な滝で、いつまでも眺めていたい景色でした。本当に感動しました。

さらに、尾瀬のことを調べていくと、「ニッコウキスゲの群生も凄いらしい」との情報を仕入れ、7月に尾瀬沼周辺を訪ねました。大江湿原では、ちょうど見頃のニッコウキスゲを見る事ができました。昔は、どこでもニッコウキスゲの群生を見る事が出来たそうですが、シカの食害でまったく咲かなくなってしまったそうです。今では、シカ除けのネットを張ったエリアでのみ、ニッコウキスゲを楽しむ事ができるようになりました。近年、尾瀬でも熊が出没して問題となっています。自然の中では、人間も植物や動物と共に存する必要があると思いますが、バランスをとることが難しいですね。

それから、尾瀬ではじめて知った「歩荷（ぼっか）さん」のことについて触れたいと思います。歩荷さんは、尾瀬の宿泊施設で使用する食材や備品を運ぶ職人さんことを言います。時には、100kgを超える荷物を背負子（しょいこ）と呼ばれる枠にくくりつけて運びます。最近は、歩荷さんが尾瀬を歩く様子をYouTubeで配信しており、動画を通して尾瀬の自然を疑似体験することができます。

尾瀬に魅せられた私は、家族や友人などを誘って何回も訪ねることになりました。82歳になる母親を連れて、ニッコウキスゲの群生をみたこともあります。皆さんも、一度、尾瀬に行ってみてください。きっと心洗われる景色に出会えると思いますよ。

NPO 法人埼玉県キャンプ協会常務理事 坂田知子



イベントレポート

雪のキャンプ

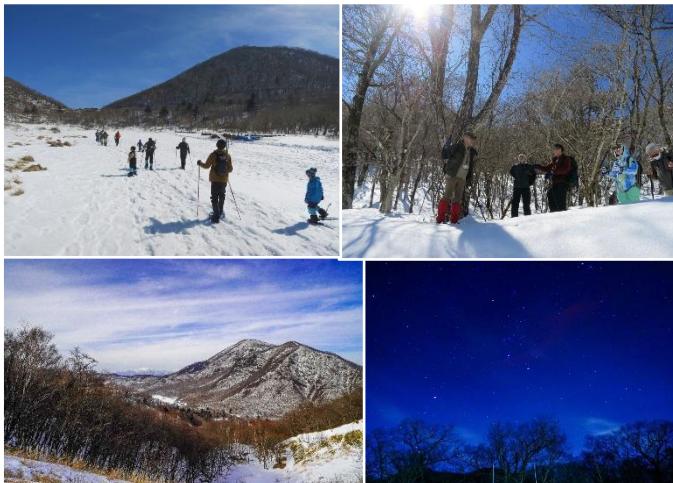
2025年3月1日(土)~3月2日(日)

前橋市赤城少年自然の家

今年度も冬のキャンプは群馬県前橋市の「赤城少年自然の家」をお借りして実施しました。

ご参加いただいたのは大人と子どもを合わせて28名でした。初日は希望により、雪あそびとスノーシューハイキングに分かれて活動しました。雪あそびは、雪が積もった所内の森でソリなどをして大盛り上がり。スノーシューハイキングは、少年自然の家～大沼～覚満淵～鳥居峠～小沼～八丁峠～大洞～少年自然の家を約4時間かけて歩きました。(みんなよく頑張った！)

夜になれば満天の星。見上げれば、オリオン座、おおいぬ座、ふたご座、おうし座、アンドロメダ座、カシオペア座、大熊座など有名どころの星座が勢ぞろいして輝いていました。宿舎泊が基本ですが、3名が雪上テント泊に挑戦。星空の下の静かな夜を体験しました。



二日目は、皆で雪あそび&焚火遊び。こどもたちがソリで遊ぶかたわら、大人たちは焚火のまわりでコーヒータイム。焚き火でマシュマロ焼きが始まるとこどもたちも駆けつけて、皆でおやつタイムとなりました。

関東では春の陽気となった2日間、天候にも恵まれて雪の世界を大いに楽しんだキャンプでした。



イベント インフォメーション

キャンプインストラクター養成講習会(5月)

公益社団法人日本キャンプ協会公認指導者資格「キャンプインストラクター」を取得する講習会です。ここでは、キャンプの理論と実技を学びます。

平日の夜にZoomを使った講習(2回)で理論を学び、週末の1泊2日で実技を行います。キャンプ指導の基礎を学ぶチャンス。興味をお持ちの方にご紹介ください。学び直しの方も歓迎です。詳細は、ホームページで。

期日 理論講習 2025年5月平日 Zoom利用

実技講習 2025年5月17日(土)~18日(日)

実技場所 長瀬カヌースクール(秩父郡皆野町)



会員からのお便り

きぬたの「設立40周年特集」を読んだ岩手県在住の会員からお便りをいただきました。遠く離れていても、こうしてつながっていられることに心が熱くなります。



この度は、埼玉県キャンプ協会設立40周年誠におめでとうございます。

私は、岩手県に在住しておりますバニーです。私と埼玉県キャンプ協会との縁は、かれこれおよそ30年になります。夫が野外活動のスポーツ少年団に携わっており、そこへ娘といっしょに参加していて、今は亡き斎藤清治さんと活動を共にしたことがきっかけでした。

当時、野外活動といえば小学校で行われる林間学校のキャンプファイヤーが主流で、非日常を味わい楽しむ「キャンプ」という言葉が世間に出来始めた頃でした。そこで、「キャンプ指導者講習会」を受講し、実家が埼玉なので埼玉県キャンプ協会の会員になりました。その後、埼玉を離れましたが、埼玉との縁は切りたくないと思い、ずっと埼玉県キャンプ協会の会員のままであります。

現在、仕事の都合上、活動する機会があまりないのでですが、「きぬた」が送られてくると、一番初めに目を通し、埼玉の地を思い浮かべております。

末筆になりましたが、皆様の今後のご活躍を北国より見守っております。

(北国のバニー)

